

# 中学校第2学年 道徳科 学習構想案（例）

日 時 令和〇年〇月〇日（〇）第〇校時

場 所 2年〇組教室

指導者 教諭 〇〇 〇〇

## 1 学習構想

<b>主題名</b>	郷土の発展（内容項目C（16）郷土の伝統と文化の尊重，郷土を愛する態度）	
<b>ねらいと教材</b>	(1) ねらい イカナゴ漁の修行に行くことが不安だった若者たちの気持ちの変化について話し合うことを通して，郷土の発展のために自分にできることを実行しようとする実践意欲と態度を育てる。 (2) 教材名 イカナゴの海 出典：「熊本の心 中学校（熊本県教育委員会）」	
<b>評価の視点</b>	<b>評価の視点 1</b>	<b>評価の視点 2</b>
	地域の人々との人間関係を振り返ったり，地域社会の実態を把握したりして，郷土の発展について多面的・多角的に考えている。	郷土の発展に尽くした先人に対し，尊敬と感謝の気持ちを持ち，これからの自分自身の生き方について考えている。
<b>目指す生徒の姿</b>		
郷土に対する認識を深め，地域社会の一員として，その発展に努めようとする生徒		
<b>主題に迫る学習課題（本時）</b>		<b>本主題で働かせる見方・考え方</b>
地域をよくしていくために，自分たちはどんな思いをもって行動したらよいのだろう。		郷土の発展について多面的・多角的に考え，自分との関わりを考えながら，自己の生き方についての考えを深めていくこと。
<b>内容項目相互の関連的・発展的な指導，各教科等や体験活動等との関連的指導</b>		
<b>特別活動 道徳科</b>		
<b>「委員会活動」</b> ○ 一人一役で全員が委員会に所属し，自分のことだけでなく，学校全体の利益につながることを考え，学校生活に係る諸問題の解決を図る。  <b>「体育大会（稜南ハイヤ）」</b> ○ 全校一丸となり天草の伝統芸能を大切に受け継ぐ，という意識を持って行動する。  <b>「ボランティア活動」</b> ○ 様々なボランティア活動に参加し，地域の方々と交流をしている。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>「俳優 笠智衆」</b>                      (出典：熊本の心 中学校)                      C（15）よりよい学校生活，集団生活の充実                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>「イカナゴの海」(本時)</b>                      C（16）郷土の伝統と文化の尊重，郷土を愛する態度                      主題名 郷土の発展                      イカナゴ漁の修行に行くことが不安だった若者たちの気持ちの変化について話し合うことを通して，郷土の発展のために自分にできることを実行しようとする実践意欲と態度を育てる。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>「異国の地で生涯をささぐ」</b>                      (出典：熊本の心 中学校)                      C（12）社会参画，公共の精神                 </div>	<b>総合的な学習の時間</b>  <b>「天草調べ」</b> ○ 天草の産業や観光，自然や郷土料理・芸能などについてテーマを選び，調べ，まとめる。  <b>「職場体験」</b> ○ 自分は将来どのような仕事につき，何を大切にしていきたいのか，地域社会のためにどのように貢献できるのかを考える。

## 2 主題設定の理由

### 学習指導要領における該当箇所（ねらいや指導内容についての教師の捉え方）

本主題は、中学校の内容項目 C（16）「郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。」を基にしたものである。

今日、日本では都市化が進む一方で過疎化も進んでおり、郷土に対する愛着や郷土意識が希薄になっている傾向が見られる。〇〇（地域名）も過疎化が進む地域が目立ち、学校の統廃合なども進み、郷土意識に変容が見られることもある。伝統の継承が危ぶまれているものもある。生徒にとって大切な生活の場である地域社会であるが、今の自分の生活が存在するのは、自分の家族や社会に尽くした先人、高齢者などの先達の支えのおかげであるということを知覚することが必要である。郷土について調べたり、地域の行事へ参加したりする体験を振り返ることを通して、地域社会に尽くした先人や高齢者などの先達への尊敬と感謝の気持ちを持ち、郷土に対する認識を深めるとともに、郷土に対する先人の思いを知り、自分自身を見つめ直すことで、郷土を愛しその発展のために自分に何ができるかを考えていくことにつながるものである。

### 本主題における系統

#### 中学校第1学年

内容項 C（16）（郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度）

郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。

教材名「ぼくのふるさと」

主題名「ふるさとのために」

（出典：新しい道徳1 東京書籍）

#### 中学校第2学年

内容項 C（16）（郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度）

郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。

教材名「イカナゴの海」

主題名「郷土の発展」

（出典：熊本の心 中学校）

#### 中学校第3学年

内容項 C（16）（郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度）

郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。

教材名「熊本スピリッツ」

主題名「心のぬくもり」

（出典：熊本の心 中学校）

### 生徒の実態（児童の学習状況や実態と教師の願い）

本学級の生徒数（〇名）…意識調査〇名実施

#### ■主題に関する意識の状況

- (1) 〇〇は好きですか。「好き」… 〇人「どちらでもない」… 〇人「好きではない」… 〇人
- (2) 〇〇のいいところはどんなところだと思いますか。
- (3) これから〇〇のよいところがもっとよくなってほしい（発展してほしい）と思いますか。  
「思う」… 〇人 「思わない」… 〇人
- (4) 過去に〇〇をよくするために力を尽くした人や、現在活動している人を知っていますか。  
「知っている」… 〇人 「知らない」… 〇人
- (5) (4) で知っていると感じた人は、どんな人を知っていますか。
- (6) 〇〇をよくするために、今自分がやっていることはありますか。それはどんなことですか。

#### ■考察

項目のみ記載しています

### 教材の価値（使用する教材の特質や具体的な活用方法）

教材「イカナゴの海」は、医者である上原典禮が、大火災に遭い、うちひしがれる村人たちをなんとかして救いたいと思い行動を起こし、村の人々と力を合わせてイカナゴ漁の成功で村の復興を実現した話である。典禮の村の復興を強く願う行動と、その典禮の思いに心を動かされ修行に勤しんだ若者たちの行動や、多くの村人たちの協力など郷土に対する思いを多面的・多角的に考えることを通して、郷土の発展のために自分に何ができるかを考えることができる教材である。

本教材を活用した授業において、生徒の多様な価値観を引き出しながら郷土の発展のための実践意欲や態度を育てたい。

### 3 指導に当たっての留意点

#### 【導入・終末の工夫】(学習過程の工夫)

- 授業の導入場面では、郷土における意識調査の結果等を提示することで、生徒が本時の主題に関わる問題意識をもてるようにしたい。その上で教材に出会わせていきたい。
- 授業の終末では、地域のために貢献する人々の様子や生徒の活動の様子をスライドなどで提示することで、郷土の発展のために自分ができることはたくさんあると感じさせ、自分ができることから実行しようという実践意欲へとつなげたい。

#### 【発問の工夫】(指導方法の工夫)

- 中心発問を「どうして仙蔵たち四人の若者は、骨身を惜しまず修行することができたのだろう。」とし、初めのうち漁や修行に反対したり、不安に思ったりしていた人々の行動の変化から、郷土に対する思いを感じ取らせたり、「自分だったら同じような行動ができるか」「修行に行かなかった人々は地域のために何もしなかったということなのか」と考えさせたりすることで、それぞれの立場で自分にできることは何かと考える、行動し、協力していくことが郷土の発展につながっていくことに気付かせたい。
- 「地域を大切にするとどのような思いをもつことだろうか。」という発問をし、意見を交流させることで「郷土愛」に対する多様な考えに触れさせる。さらに、その後「これからどんな思いをもって行動したらよいのだろうか。」と問うことで郷土の発展のための自分の思いや行動についての考えを深め、実践意欲を育てたい。

#### 4 本時の学習

##### (1) ねらい

イカナゴ漁の修行に行くことが不安だった若者たちの気持ちの変化について話し合うことを通して、郷土の発展のために自分にできることを実行しようとする実践意欲と態度を育てる。

##### (2) 展開

過程	時間	学習活動 (◎主発問◇その他の発問◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	<p><b>1 本時の学習課題を知る。</b>                      (1) ○○(地域名)に対する思いを聞いた事前アンケートの結果を示す。                      ・○○は好きですか。                      ・○○が発展してほしいと思いますか。                      ・○○の発展に貢献した先人を紹介する。                      ○クイズ、この人は誰でしょう？</p>	<p>○郷土と自分との関わりについて考えさせ、郷土に対する認識を深め、郷土の発展に対する問題意識をもたせ、本時の学習課題につなげる。</p> <p>○最後に本時に登場する上原典禮や有明町を話題に出し、資料につなげる。</p>
		<p><b>【学習課題】</b> 地域をよくしていくために、自分たちはどんな思いをもって行動したらよいのだろう。</p>	
展開	35分	<p><b>2 教材を読み、道徳的価値について考える。</b>                      (1) 資料を読み、あらすじを整理する。                      (2) イカナゴ漁を始める典禮や仙蔵、村人たちの思いについて考える。                      ○医者や典禮がイカナゴ漁の研究を始めたのはどんな気持ちからだろう。                      ◇なんとか村を豊かにしたい。人々を助けたい。                      ○イカナゴ漁の話や典禮から聞いた村人たちはどのような気持ちだっただろう。                      ◇できるはずがない。絶対無理だ。                      (3) 登場人物の行動をもとに、自分の考えを見つめ、行動を考える。                      ○自分だったら仙蔵たち若者のような行動ができるだろうか。                      ◇できない。修行は1週間が限界かも。                      ◇村の人たちのためにがんばりたい。</p>	<p>○登場人物の気持ちと自分の考えを比較しやすいように、教材のあらすじを全体で整理する。把握しやすいようにイラストを用いる。                      ○資料が長いので、押さえるべき箇所をしっかりと押さえられるようにする。</p> <p>○それぞれの登場人物の行動をおさえ、気持ちを想像し、道徳的価値について理解する。</p> <p>○多面的・多角的に考えられるように、生徒の多様な発言を大事にする。                      ○できるかできないか自分の立場を考えさせ、数名にどうしてそう思ったのか考えを聞く。</p>
		<p><b>【中心発問】</b> ◎どうして仙蔵たち四人の若者は、骨身を惜しまず修行することができたのだろう。</p> <p>◇典禮さんの思いに応えたいと思ったから。                      ◇村の発展のためになんとかしたいと思ったから。                      ◇一緒にがんばる仲間がいたから。                      ○典禮のように私財をなげうったり、若者たちのように力仕事を行ったりしなかった人は地域に対する思いが足りなかったのだろうか。                      ○「地域を大切にすると」とはどのような思いをもつことだろうか。                      ◇地域を大切にすると、ということには色々な形があるのかもしれない。</p>	<p>○初めは「無理だ」「行きたくない」という気持ちがあったことを押さえ、それでも一生懸命修行した、ということに着目させる。</p> <p>○考えを共有し、「郷土愛」に対するそれぞれの考えを深めさせる。</p> <p>○郷土の発展のためには、できることはそれぞれ違っていても、それぞれの立場でできることを行動していくことが大切であると気付かせたい。</p>
終末	10分	<p><b>3 自分自身を振り返る。</b>                      (1) 地域のために活動されている方の様子を知ったり、自分たちの活動を見直したりし、これまでとこれからの自分について考える。                      ○これまで自分が地域をよくしていくために行動したことはありますか。これからはどんな思いで、どのように行動していきたいですか。                      ◇自分なりの「郷土愛」を大切に行動していこう。</p>	<p>○地域のために活動されている方の様子や地域行事に参加している生徒たちの様子を見せ、自分のこれまでの行動を想起できるようにする。                      ○自分を見つめ、地域に対する思いを見つめ直し、自分にできることや今後したいことを考え、実行しようとする実践意欲へとつなげていく。</p>

**【評価の視点1】** 地域の人々との人間関係を振り返ったり、地域社会の実態を把握したりして、郷土の発展について多面的・多角的に考えている。(方法：発言・ワークシート)

**【評価の視点2】** 郷土の発展に尽くした先人に対し、尊敬と感謝の気持ちを持ち、これからの自分自身の生き方について考えている。(方法：発言・ワークシート)

## 【板書計画】

○これから どんな思いで？	全員の 考え	○地域を大切に するとはどの ような思いを もち ことだろう。	○どうして仙蔵 たち四人の若 者は骨身を惜 しま ず修行するこ とができたの だろう。	あらすじ	挿絵	挿絵	学習課題	イカナゴの海
							地域をよくして いくために自 分たちはどん な思いで、ど う行動したら よいのだろう。	写真

## 【ICT活用計画】

例：教師による教材提示の計画，ICTを活用した発表，まとめ等による考えの共有の計画等

導入時 アンケート結果をスライドで示し，情報を捉えやすくさせる。

展開 発問内容を文字で示すことで，今何を問われているのかを明確にする。  
タブレットでポジショニングを行い，それぞれの考えの違いを視覚的に捉える。

終末 振り返りの場面【電子黒板】

○振り返りの場面において，これまでに行ってきた郷土の発展につながる自分たちの行動や地域のために活動されている方の具体的な行動の場面を見せる。

あいさつ運動（交通指  
導）をされている方の  
写真

祭りやボランティア  
に参加している写真

全校ハイヤの様子